



事業開始前の上越新幹線本庄早稲田駅開業当時（平成 16 年撮影）

本庄新都心地区／埼玉県本庄市

本庄新都心地区は、平成 16 年に開業した上越新幹線「本庄早稲田」駅を中心に、本庄新都心土地区画整理事業と早稲田リサーチパーク地区を一体的に整備し、国際的な研究開発拠点の形成を目指すものです。UR は、先行整備地区 65ha において本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業を施行し、平成 18 年 9 月に事業計画の認可を受け、今年 3 月に換地処分、保留地処分を完了しました。当地区の商業業務用地には大型商業施設や大手企業の本社も立地し、早稲田リサーチパークと一体となっており、「職・住・遊・学」のまちが形成されています。

タイムトリップ



平成 26 年 1 月撮影

株式会社カインズ本社



上越新幹線本庄早稲田駅



施行面積：65ha
施行期間：H18 年度～ H25 年度
(換地処分)

隣接して整備された早稲田リサーチパーク



地権者が土地の共同利用を行い誘致した大型商業施設ベシア・ゲート本庄早稲田